

作文の部 岩手県内水面漁連会長賞

未来へ「きれいな」をのこすために

一関市立興田小学校 六年 佐藤 瑞実

私は、環境を守って、いこう、と実感した。出
来事があります。それは、4チャンネルタイム
の学習で行った川の学習での事です。

クラスのみんなで、川に住んでいる生き物
を調べた結果、魚などだけでなく、カワゲラ
やカゲロウなど、たくさん生き物が住んで
いて、とてもおどろいた事を覚えています。

そして私は、ふだん見ていないだけで、こ
んなにもたくさん生き物がいるんだな、と
思い、川を少しよぎすだけ、と思わず、もし
自分の行動で、何百、何千の生き物を殺して
しまうかもしれない、と考えると、とてもな
くひどい事だと思いました。

そこで、もしかしたら、川だけを守って、い
けばいいのかわかると思う人もいるかもしれませ
ん、しかしそれは違うと私は思います。いま

での社会の学習で、森林と海はつながっている
と習った事があります。そしてそこから、森林

と川もつながっている、と考えることができません。
私たちは、^{木林}の自然も、川の自然も守るべく、
このことが必要だ、というところが分かります。

今すぐに一人が大きな事をするより、大ぜいの人が、自分の行いに目を向け、小さな事で始めてみたら、一人ががんばるより、大きな力になると思いませんか。私はそう思います。

たとえば、ゴミをちゃんと持ち帰る事など、大切だと思えます。あたり前だと思ふ人もいるかもしれませんが、かんたんにゴミを捨ててしまふ人もいます。そんな人たちにこの思いが伝わってほしいです。

次に、家でも洗剤の量を少しへらしてみたり、のよな家でもできる事もたくさんあります。そして、このよな小さな事のつみかさねが未来に「きれい」をのこすために必要な事だと、私は考えます。